



2020年7月31日

世界食料デー大会実行委員会御中

## 2019年度「世界食料デー」のご報告

拝啓

世界に広がる飢餓・貧困問題の解決を願って、日本の国内で私たちに何が出来るかを考え、共に実践していくために、昨年も「世界食料デー大会」に取り組んで下さいましたことを心より感謝申し上げます。

2019年度は、募金の目標として、母子栄養改善、保健衛生改善、農業支援等を立て、9月～11月の3ヶ月間にわたってキャンペーンをさせて頂きました。

全国28ヶ所において開催されました世界食料デー大会には、延べ約3,900人もの方々にご参加下さいました。大会の後援をして下さいました各団体にも、この報告書をお渡しいただければ幸いです。

この支援金は、飢餓や貧困に苦しんでいる方々を支援するプロジェクトのために用いさせていただきました。詳細につきましては、報告書を添付させて頂きましたのでご参照下さい。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2019年度世界食料デー募金総額 13,065,269円	横浜大会献金額 239,489円
---------------------------------	---------------------

ここに、心からの感謝をもってご報告させていただきます。

敬具

ハンガーゼロ（一般財団法人日本国際飢餓対策機構）

理事長 清家 弘久

世界食料デー事務局（東京事務所内） 近藤 高史・中村 めぐみ

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1 TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155  
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1OCCビル 517号室 TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782  
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132  
沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202号 TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216



### 2019年度世界食料デー募金使途

収入金額		支出金額		
2019年度 世界食料デー 募金総額 (*1)	¥13,065,269	募金 送付	インドネシア：母子栄養改善	¥1,000,000
			ケニア：学校トイレ・貯水タンク支援	¥1,000,000
			コンゴ：共同農園・家畜飼育支援・地域リーダー育成	¥6,040,000
			フィリピン：子ども教育支援・地域リーダー育成	¥4,340,000
			事務経費(講演者・現地報告者旅費)	¥368,821
			チラシパンフレット等印刷費用	¥316,448

(\*1)世界食料デー各大会募金額とその他世界食料デー指定募金合計

2020年7月31日

上記のとおり報告いたします

一般財団法人 日本国際飢餓対策機構  
〒581-0032 大阪府八尾市弓削町 3-74-1  
TEL: 072-920-2225 FAX: 072-920-2155



世界食料デー事務局 近藤 高史



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1 TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155  
 東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1OCCビル 517号室 TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782  
 愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132  
 沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202号 TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216



## 世界食料デー2019 募金使途報告

### インドネシア共和国 (母子栄養改善)

ハンガーゼロは、現地パートナーFHインドネシアと協力して、西スマトラ州南シブルット島の3つの村で子どもたちの発育阻害の問題を解決するための栄養改善プロジェクトを推進しています。

発育阻害の背景にある深刻な栄養不良と農産物の需要の低さから来る農家の低所得を同時に解決するため、卵、ミルク、野菜などの栄養価の高い農作物を供給できるよう農家を技術的に支援し、母親グループと繋いで330グラムの野菜、卵2個、山羊の乳220mlが入った栄養食品バスケットを供給する仕組みを作りました。

栄養食品バスケットの取り組みに参加している18人の農家は、週に一度、農業センターに集まって、農業トレーニングを受け情報交換をしています。それまで山羊や羊を飼う習慣がありませんでしたが、自然に生えている草や豆が餌になること、山羊や羊の糞から肥料を作り、野菜の栽培に役立てられることを学びました。また、ほうれん草、ケール、なす、豆類、からし菜、しろ菜など様々な野菜の栽培についても学び、1週間の生産量は、平均して山羊のミルクが12リットル、卵が50個、野菜が200キロになりました。

母親グループも毎週集まり、健康的でバランスの取れた食事、石鹸を使った手洗い、清潔なトイレ、家庭で役立つ薬草など、家族の健康のための学びと話し合いを行っています。



▲インドネシア共和国での活動の様子

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1

TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1OCCビル 517号室

TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782

愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F

TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132

沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202号

TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216

# ハンガーゼロ Hunger Zero

これまでミルクを飲む習慣がありませんでしたが、2歳未満の子どもがいる母親が栄養食品バスケットを購入した場合には、ミルクが1本無料でもらえるキャンペーンを行い、質のよい栄養のある食品を十分な量摂ることの重要性の理解を図りました。

FHインドネシアは、栄養食品バスケットの取り組みを持続可能なものとするため、プロジェクトの開始当初から3つの村の村役場との協力関係の構築にも力を入れています。すべての村がプロジェクトを好意的に受け止めており、そのうちの1つの村では栄養食品バスケットの活動を支援するため、農家への山羊の提供を申し出ました。

栄養食品バスケット（約1ドル）は、市場価格よりも低く設定されていますが、それでも一部の母親たちにとっては負担となっていて栄養食品バスケットの購入が定着しません。その解決のため、様々な食品からバランスよく栄養を摂ることの重要性についての啓発に力を入れると同時に、取り組みに参加している農家グループの役に立つヤム芋、キャッサバ、トウモロコシなどの農作物での支払いを可能にしました。また、3つの村すべてに、村の予算から栄養食品バスケットに補助金をつけてくれるように要請し、交渉を継続していますが、農家への山羊の提供を申し出てくれた村が前向きに検討してくれています。



▲インドネシア共和国での  
母子栄養改善活動の様子

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1

TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1OCCビル 517号室

TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782

愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F

TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132

沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202号

TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216

## ケニア共和国（学校トイレ、貯水タンク支援）

ハンガーゼロは、現地パートナー、FHケニアと協力して、メルーカウンティ、ブウリクラスターの13の学校で保健衛生環境の改善と保健衛生意識の向上に取り組むプロジェクトを支援しています。

若いうちに衛生的な生活習慣を身につけることは、その後の人生における健康の保持に大きな影響を及ぼします。FHケニアは、10校の健康クラブの400人のメンバー（男女200名ずつ）を対象に衛生的な生活習慣と健康との関係について学び実践するためのトレーニングプログラムを行いました。トレーニングは、受講した子ども達自身が衛生的な生活習慣を身につけるだけでなく、その子ども達から家族や友達にもその知識が伝えられ、衛生的な生活習慣が広がるように組み立てられています。手洗い、入浴や歯磨き、人や家畜の糞尿の始末や掃除、バランスのよい食事、健全な人間関係などについて学んだメンバーは、学んだことをその都度、実践して友人や家族のロールモデルとなりました。また、学んだことを活かして、学校の敷地内の藪を伐採したり、毎朝手洗い用の水を補充したり、毎週ゴミを収集して燃やしたりと学校ごとの課題解決に取り組みました。



▲ケニア共和国での手洗いの様子

カイルニ、ロイレ、ルワレラの3つの小学校には、合計で579人の生徒（男329、女250）が通っていますが、各学校に容量5000リットルの貯水タンクが設置されました。

また、カルマンティ、ムムイ、ンコロイボロ、ロイレ、キボリオネの5つの小学校には、合計で1,473人の生徒（女883、男589）が通っていますが、生徒数

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1

TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1OCCビル 517号室

TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782

愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F

TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132

沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202号

TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216

に対してトイレの数が少なく、常に長い順番待ちをしなければなりませんでした。トイレの数が少ないことで、急いで用を足さなければならず、またトイレを衛生的に保つことが困難なため、生理中の女子生徒は学校を休みがちになっていましたが、新しく6つのトイレが設置されました。



▲ケニア共和国での学校トイレ設置の様子

## コンゴ民主共和国

ハンガーゼロは、現地パートナー、ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ (HOLC) と協力して、上カタンガ州プウェト地区の5つの村で、元国内避難民と村人の共同農園の取り組みを継続して支援しています。この取り組みが引き続き住民主体で持続的に実施され広がっていくための地域リーダーの育成にも力を入れています。

## フィリピン共和国

ハンガーゼロは、現地パートナー、ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン (HOLPFI) と協力して、ミンドロ島のアルサビ (旧マイ) 地区で、地域住民による子どもの教育環境改善の取り組みを継続して支援しています。この取り組みが引き続き住民主体で持続的に実施され広がっていくための地域リーダーの育成にも力を入れています。

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1

TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1OCCビル 517号室

TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782

愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3名古屋YWCAビル6F

TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132

沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202号

TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216